

## 【要点録】

●30年度アクションプランの取り組みの報告を事務局より説明。

### 【池本委員】

匠の館からあさぎり橋までの川沿いに熊笹が伸びており歩道から川が見えない状態になっていて伐採して頂いたが、見えていなかった古い看板等景観を損なうものが見えてきた。川の反対側のつつじも大きくなり過ぎ通り沿いの外灯に覆いかぶさっている状態である。市の予算等もあると思うが、観光進行計画の歩いて回る宇治市の街を目指されているのできれいな道路にして頂けないかと30年度で一番思った。

→（事務局）予算の確保が出来ておらず先送りになっているのが現状。景観が宇治の観光のキーワードである事から検討していきたい。宇治橋から府道三室戸線の中央分離帯の掃除等は予算の無い時に土木事務所等とも行った経過もあるのでどの様な方法で出来るか緊急に検討する。

### 【神居委員】

三週間前から鳳凰堂の修理を行っている。世界遺産とその対象・環境も含め整備する事によって次年度・次々年度も多くの方に楽しんで頂ける様に考えている。

\*日常管理について各部署が連携をするシステム、例えばこういう時はどこに連絡をするといったようなシステム、私たちや市民にわかりやすい景観整備の管理システム作りをお願いしたい。例えば、草が伸びてきたら…ゴミがいっぱいになっている…どこに連絡するのか。町の人がみんな目を見せられる様な輝ける環境作りのシステムを作してほしい。

\*22ページの源氏物語ミュージアムについて質問。かつて宇治は源氏物語の街だった。のちに世界遺産・現在は宇治茶の三本柱。そして四本目が景観となっていく。22ページのプランを出して4年間継続実施との事だが、例えば施設の三館共通割引券はどの程度機能したか？三館のうち一館しか行かなかったのか？チケットの実際販売枚数は？等。リニューアルオープンした源氏物語ミュージアムはそれ以降どの程度入観があるのか？企画展はどうか？正確な情報を出し源氏物語ミュージアムが弱ければこうしよう…植物公園が行きにくければこうしよう等。ダムの問題や広域的な事も含めて問題があるなら割引にするや遊覧のバスはどうか等。そういった意見を出せる様に委員全員に共通認識として追加の資料を出して頂きたい。

\*源氏物語ミュージアムのリニューアルオープン時の映像展示を見て非常に面白いアニメーションだと思った。実は宇治に来てから見る映像ではなく、ネット等で来る前を見て宇治に来たい、源氏物語ミュージアムに行ってみたいと思わせないと映像は意味が無い。他のプランもここに来る前に、より観光のコンテンツがこんなのあるから行ってみたいと思わせる仕掛け作りが必要。あれだけのお金でNHKと作っているのに、来る前に配信し見てもらい、さらに来てからはより違う魅力がある仕掛けを作っていただきたい。世界遺産・源氏物語・さらにはお茶を来る前に知っていただいて宇治で飲むお茶は違う…そんな仕掛けがほしい。アクションプランの策定時に意見

として話したが、H34年の振興計画プランの翌年に新名神が全線開通する。南部から、城陽・神戸から名古屋へと広域的なインフラ整備が必要。混雑し来にくくならないよう南部への窓口として宇治がある事を念頭に、南部とのさまざまな観光コンテンツの洗い出しと連携が出来ないか。いよいよ新名神・北陸新幹線・リニア等々を含めて長い目線でこの期間に準備をしないと乗り遅れる。

（坂上委員長）三点の意見。一点目が観光をテーマにいろんな部署とのネットワークの連携について。二点目が源氏物語ミュージアムのリニューアルではどの様な効果があったのか、さらに問題点はどのようにして解決していくのか。三点目は新名神のインパクトをこれからどう活かしていくのか。非常に大きな三つのテーマが出ました。事務局から具体的にお願いします。

→（事務局）日常の管理を観光振興課がワンストップで承り各部署が対応をしていきたいと思っている。観光協会・商店街・商工会議所等地域の各団体と連携を取り、どこに聞いても上手くつながる仕組みを作っていくため努力する。

源氏物語ミュージアムの昨秋リニューアル以降、販売数の数字が追いついていない。三館共通チケットの販売数も最近数字が出てきて間に合わず申し訳ない。調整しこれらに限らず数字のつかめるものは見直し資料をお渡りする。次回以降は早目に数字を集める。来る前に宇治がどれだけ面白そうか感じて貰えるかが情報発信のキーとこれまでもご指摘いただき、仕掛けを考えているところ。インスタグラムに取り組み若い世代にうったえかける。具体的にはミュージアムの映画の予告編をユーチューブにアップしていくことをミュージアムに交渉してみたいと考えている。

新名神は、観光のみならず宇治市の命運を握っていると考えている。現在宇治市総合計画を3つの中期計画にわけて作り、直近の中期計画では今まで京都ばかりに向いていたものをこちらに向くよう産業や人の行きかう観光においても意識している。観光の分野ではお茶の京都DMOが南部の12市町村を所管しており現在商品作り等ご協力いただき連携を強めている。また観光協会や市役所同志も結び付けていきたいと考えている。

（神居委員）政府はワンズオンリーで1か所どこかに行けば連続するのが望ましいとしており、下地作りを観光部門で全庁あげて考える内容だと思う。源氏物語ミュージアムの映像の予告編も良いと思うが、昨年作った宇治の観光ゲームほどのくらい有効であったか？アクセス数ではなく、それを見て宇治に来たいと思った人はどれくらい？アンケートは？

（事務局）宇治のPR動画をゲーム風に作ったものは、ユーチューブの視聴は何十万のアクセスがあり、それが動機で宇治に来たかという調査は出来ていない。観光というより宇治に興味を持っていただく前提で作った経緯がありその後のフォロー調査は出来ていない。今年度ゲーム風の動画から実際のゲーム化が出来るか所管の部局で取り組んでいる。

（坂上委員長）ゲームそのものの開発で、ここに来てもらう事につなげていくには若干距離があるように思う。

#### 【山本委員】

日常的な視点から現在宇治橋上のプランターのお茶の木が大変汚く枯れたお茶の木になっている。宇治茶はこんなに汚いのかと印象になるので京都府さん今日お越しですのでよろしく…。お茶屋さんで聞くとそこではお茶は出来ない。今後どんな木が良いかお茶を植えるのか検討をお願いします。

いしたい。

（神居委員）宇治のシンボルとしての宇治茶がいいのか、橋として美しい木がいいのか難しいと思う。20年くらい前に植えた時はすごく良いお茶の木だった。

→（事務局）大変気にしており振興局の手配で土木事務所と話しをしている。橋の上で大型プランターに植わっていて芽に冬の冷たい風が直接当たる環境が厳しく土木事務所も自動冠水しているが限度との事。宇治には茶業研究所がありこんな環境でも育つ種類はないかお願いしている。接いで品種を改良して自生をしているお茶の木もあるらしく変わりの物はないか関係者で検討を頂いている。今しばらくこの状況が続くが行政一丸となって出来る限りやっていく。

#### 【佐脇委員】

観光交通対策で繁忙期の駐車場対策以外の交通に関して、JR宇治駅から平等院に歩く方が非常に多いが、ルートとしては大きく三つある。やはり宇治橋通りを通る方ルートが閑散期でも人が多く二重三重に歩かれ物理的に歩道が狭いこともあるが、速度の速い車が多く抑制するための地面の三角の塗装はあまり意味がない。先日、車が店に突っ込み店舗の半壊事故が起きたがケガ人は無かった。このエリアの車のスピードがいろんな事故が多い中で、又事故が起ころうのかなと思う。早急に対策を考えていただきたい。現在宇治橋商店街は二輪車の一方通行除外となっているが二輪車も一方通行にしてはどうかと宇治市に依頼している。接触事故は減るのではないかなと思う。速度に関しては何らかの方法がないかなと思う。

→（事務局）視覚的にスピードを抑制する塗装はしているが、なおスピードを出している車が走っているのが実態。宇治市内にも設置のある道路を盛り上げることでスピードを抑制するものがあり、これが有効か検証を関係所管部局と相談していきたい。二輪を除いている一方通行の件はお聞きしている。

（森委員）宇治橋通りの整備に地元が入って検討した結果、歩車共存道路になっている。京都府が時間をかけ社会実験し住民参加のワークショップをされた経緯がある。反復設定を検討もかえて事故発生率が高いため採用されなかった。京都府のデータを引き継ぎ、その時点の観光客等通行状況をデータで示して検討していくべき。実際に事故が起きたのは大きなことだが、お店側の強い意向としては、コミュニティ道路にしてもらっては困る、ここは観光だけの商店街ではないということだった。もし観光周遊道路に変更するのであれば街づくりの観点から議論し改めて経緯を踏まないと、個人的な観点から宇治橋通りに関しては過渡期にたっているのだからかなり大きな選択になると思う。二輪車の一方通行化も議論に出ているが長年実現していない事を考えると、宇治市で検討して済むことではない。サイン計画のガイドラインを作る時に住民も共存する形の地域のメンテナンスに変えていくべき。宇治市に何とかしてと止まっていたのはどんどん遅れていく。商店街で検討された結果を宇治市へ持って行く段階を踏まれているのか…相当丁寧な手続きを踏まれた京都府も合意形成に大変苦労されているので丁寧に進めていくべき。観光に直結し周遊性の重要な部分を担ってくる問題であり、南部から車の流入を宇治市へ促す動線計画とも関わってくる話であり、道路や建築部局だけの問題ではないと思う。経緯を知っているものとしてお願いしたい。

→（事務局）建設部局も京都府から経過の引き継ぎをしている。宇治市だけで決められる問題で

はないとの位置付けで、現在やり取りをしている経過がある。そのレベルが済めば委員会での話しと建設部局も把握している。単純にそれだけで進めるというつもりはない。

（神居委員）観光や生活に直結することで、かつての京都府の時と全く店の傾向も違う。とにかく時間が速く店や人の入れ方等現況を把握し観光部局からもそれを提示する事が必要になってくると思う。

（佐脇委員）当時と今の状況は違っている。店主の考え方も変化している。今は店主の考え方も変化し問題意識を持っている。いろんなステップを踏んで変える事が可能なのか個人的に思っている。

（森委員）住民と観光事業者の地域の共存という大きなテーマは「お願いします。はい、引き受けました」で観光部局が動くと、地域としての持続性を考えた時に丁寧にされた方がいいとの意見である。

（神居委員）短期間的に見る傾向が地方都市の場合はあるので、5年後、10年後どういう街なのかを提示し再度みんなで考える必要がある。

（坂上委員長）観光客の視点からも安全な街がつくられているということは安心な街でもあり又行きたいと思う。怖い街には行きたくないという気持ちになると思う。観光客の視点を含めて方向性を決めていただくことがよい。

#### 【増田委員】

害虫の問題で、表参道から平等院の正門の前に大きな側溝があり小さい蚊のような虫がたくさん湧いている。以前にも土木事務所に見てもらったがヘドロを取るにも決まりがあり何センチ以上と言われた。宇治市に来られる大半の方は平等院を目指して来られる。平等院の入り口に石柱がありそこで写真を撮り中に入られるがすごい数の虫と臭いがしている。表参道にだけ特別扱いは出来ないとのことだが、何か良い方法がないか。殺虫剤は人が通っていない朝や夜にまいているが追いつかない。臭い物には蓋ではないが、何かしていただきたい。表参道からお茶の香りを出していても辿り着いた平等院の辺りでドブの臭いがする。せつかくの観光地がすべて台無しになると思っている。

（坂上委員）細かい意見が出ていますが大切な事なのでいかがですか。

→（事務局）道路関係者でないが、観光の立場として全て解決出来るわけではないがサポートするため直接要望をいただきたい。

【池村委員】宇治市の観光振興計画は立派なものが出来ており、前・後期に分けてアクションプランをPDCAで回し京都府内の市町村では他にないくらい頑張っておられると思う。京都府も昨年西脇知事が就任し、まず少子化対策と観光振興対策に取りかかっている。観光振興対策では知事自身が本部長に就任しこの三月に観光総合戦略としてとりまとめている。大きな課題は、京都府は観光都市と言われているが京都市に集中し京都市を除くとほとんどが観光の集客数も少なく消費額も少ない。単に京都市から全域に還流させるのか、周遊滞在型の観光作りを進めていくのか重点施策として打ち出している。特に宇治市は山城管内でもゲートウェイがあり、この前の観光見込み客数も520万人くらいとのことで非常に多くの方が来られる。振興局もJR宇治駅近

くにあり相当な観光客が毎日賑わっていると感じている。大勢の方に消費額を伸ばしお金を落としてもらうか。観光は入り口であってそれを通じて商工業・文化、農業も含めてつなげていくのが大事で、その観点から取り組んでいる。宇治市も繁忙期と閑散期があり通年を通してバランスよく観光客に来てもらうということが課題だと思いますし、そういう意味でDMOを作って山城管内で協力をしていただいている。今回配っているチラシは、地域に眠っている観光資源を掘り起こし磨き上げて観光商品としてプロモーションし販売をしていくという取り組みをしている。JR宇治駅前ではカーシェアリングのステーションから平等院・萬福寺に行くコラボレーションとして少しでも周遊型の観光につなげるかに取り組んでいる。その間の消費につなげることも併せて考えている。太いパンフレットはインバウンド向けの観光地を巡るタクシープランです。宇治市の関係で言うと炭山に陶芸村がありそこへ巡っていただくというプランで、DMOを中心として商品化・販売につなげています。さらには長い期間地域に滞在してもらうことが大事であり、今年度ナイトツーリズムとして宇治市と一緒に花灯路を考えている。今まで東山区や嵐山で行っていたものを宇治市でも夜まで滞在し、いろんな物を食べ堪能し帰ってもらうことに取り組んでいる。京都府は市町村での取り組みを線で結んで面で展開していく。新名神というインパクトが目の前に迫りどのようにテコにし山城管内隔々まで経済効果が行き渡らせるかを重点的に取り組んで行きたいと思っている。

【森委員】三つあります。一つは具体的なことで45ページ46ページにサイン計画のことがあるのですが、平成28年にガイドラインを策定して以降、看板等を実際設置出来ている数が非常にスローなペースになっている。予算的な裏付けが無いと出来ないのは事実だが、かなり古くなっている物や景観を損なう看板等撤去も重点的なサイン計画になっているが進んでいない。所有者との調整等ご苦勞を承知で申し上げるがもう少しスピーディにしていだけないか。時間が経過すると出来上がった時には、最初に作ったデザインが古くなってしまう。デザインには旬がある。思った以上にスロー過ぎている。計画はあるが予算上宇治市として出来ないものは明確に打ち出し、サイン計画自体を実施計画レベルで少し見直す等何か考えるべき。新名神関係の誘導サインの設置も山城北の今年度事業は目が回る数の規模になっている。あと1~2年の話になってくる。宇治市の街中を整備し、後の新名神の大きな道路誘導と接続しリンクしようとしているロードマップが崩れかけている感じがする。実施計画を確認していただき、100万円、1000万円予算がついたので今年はこれが出来ますという話しではなく、やるのであれば予算を付けるということ。判断を改めていただきたいというのが具体的なお願い。二つ目は宇治茶電車のイベントについて、宇治市の観光振興で企画・実施され、新しい試みとして良かったと思う。源氏物語ミュージアムの資料提示と同じで、数値でKPIを設定していないとこんな事になるかと思ったが、今回の観光振興計画では数値に振り回されるのではなく、質の向上を図ることで数値目標を全面に出さずに指標設定のKPIを意図的に避けていたが、実施の内容に関しても関連団体が出した実績数は上がっているが、お客様からどんなニーズがあったか、この事業自体をどう評価すればいいか等評価的な視点の入った資料のまとめになっていない。現場の声がお客様の満足度の象徴としてひとつの不満足の見点として上がっていると捉え、地元からや平等院表参道からと言うのではなく実は観光客の声の取り次ぎだと理解すればこのアクションは相当意味が違ってくるはず。5年に

一回プランを積み直す時には満足度調査は行うが日常の小さなフィードバックを積み重ねるしくみが弱い。資料に数字を入れ、こんなお客様の声があり各実施地点はこんなアンケートをしている等、変化の速い時代だからこそ生の声が必要ではないか。少なくとも事務局が資料を手元に持っていると言っていたきたい。三つ目は、宇治市の産業戦略の中で観光振興計画は戦略に付け加えなのか？31年度計画の中で位置づけられるのか？この観光振興計画は観光業の振興を図ると産業戦略には書いているが、どんなものになっていてここでの声が宇治市の産業戦略にどれくらいインパクトがあるのか委員としてわからないので教えていただきたい。京都府は総合戦略の中で観光人材の確保を大きな柱として明示され、事業者の悲鳴が届いたと思う。宇治市の産業戦略では人材確保はなく、開発するとか誘致するとかまだそのモデルから脱してないように見えた。サービス産業でも人材確保はかなり苦しい状況になっている。その辺りも含めて産業戦略について説明していただきたい。

→（事務局）サイン計画の設置は苦慮している。宇治市のこの先5年間の財政運営が立ち行かないことで財政健全化プランを出している。あらゆる経費をカットしている中で、このままいくと目指すポイントの来年のオリンピックと5年後の新名神プランにずれていく。サイン計画の委員会に事情を報告し判断をしていく必要があると考えているので時間を頂いて検討していく。評価的資料作りになっていないことで計画の策定の時、昨今KPIが流行っているが入れていない。そこに入れるのは我々の主観的な出来て良かった等の書き方になってしまいつまらないものになるため、出来るだけ客観的に事実だけを書いて意見を賜る仕組みの委員会になると思う。きっかけになる資料作成が出来るのではと思うが時間やタイミングの問題もあり検討させていただきたい。観光客の生の声を聞くため5年に一回動向調査をしているが生の声とは遠いものになっている。我々は市役所に居て、観光協会は観光センターに居てJR宇治駅の観光客が増えている状況を見られるかと指摘を議会から受け、市役所と観光協会の職員が観光客の生の声が聞ける方策がないのか検討していきたいと思っている。産業戦略は、宇治の製造業の話で今まで弱かったところをテコいれする計画である。開発誘致モデルではなく、既存の製造業に寄り添って支援をして伸ばしていく骨組みになっていて、宇治市の経済状況を分析する中で製造業が宇治市以外で物を買って宇治市以外に物を売っている。左右比べると売っている方が少し多くお金が宇治市内に入っている分析もあり、同じように観光も分析をしていて外貨獲得率で観光が一番になっている。産業分類上の商業、食品や小売り・対個人サービスのサポートやテコいれを同じくサポートしていきたい。人材不足は製造業に限らず地元や地元以外からも働きに来てもらうことを含め、さまざまな業種の方と取り組みを詰めている。地元の観光の方々の意見等も伺いながら人材不足対策を進めていきたい。観光関係の方と他業種の方の交流・セミナー等でヒントが得られる場を製造業に限らずやっていく。今週の月曜日からセンターで宇治ネクストとしてスタートした。今日の意見を踏まえて活動を進めていきたい。

（森委員）観光はオンとオフが激しいため雇用主は雇用がしにくい業界である。宇治の観光事業主は規模が小さいため製造業と同じモデルで考えるのは難しい。学生達の動向も働き方改革が全面に出て旅行会社のようなサービス業でも敬遠する若い人たちが増えている。それを考えるとイノベティブに新しい産業を街に起こすだけでなく、観光産業がそこから波及し製造業にインパクトが必要。観光振興計画に基づき観光関連施策を推進と書いているが、ここだけの話しになる

のかと驚いたので検討いただきたい。

【中村委員】観光産業は人手の確保やこれ以上観光公害を起こさない質の向上が一番になってくると思う。大勢の人が低い単価の物を買うだけではどうにもならない。かわまち計画もいろんな所で価格を上げ、お客様のターゲットを違うところに絞っていく考えが必要。質の低い物でどこでも出来ることをしていたら新名神が出来、南部地域の発展に向け、差別化を図れない。質の向上をマネが出来ないくらいに。どこに行っても同じ物が売っていて同じような物しか見られないではダメである。現状インバウンドに席卷され、店に来るお客様も車で来店されるお客様が土日を除いて極端に減っている。インバウンドの人たちがJRに乗り大きな荷物を持って来られ日本人のお客様から入れないという声を聞く。そのことに恐怖を覚えている。アジア圏にターゲットを絞っていることに異常な恐怖を覚えている。もう少し欧米の富裕層を宇治としては受け入れていくべきではないか。そのための施設や方法論を講じていってはどうか。

#### ●後期アクションプランの追加について

事務局より資料説明。その後各委員より発言。以下、委員ごとの発言要約。

【神居委員】前回策定時からダム周辺の観光が大化けすると思うが、令和元年設計工事とあるが予算がついて何らかの設計がされているのか。

→（事務局）かわまち作り制度はこの3月に国に登録されたところで、国と宇治市が役割分担し資料3の左下図のように通路を整備し、あずま屋やベンチを作っている。令和元年度予算で設計費も計上している。H33年までの3か年で国も宇治市も工事を終了しダム右岸に視点場として整備をする。資料4の図に先導的官民連携支援事業は、かわまち作りで志津川発電所の跡地・天ヶ瀬森林公園を上手く活用出来るか調査するもの。近年自然を使ったアクティビティというものが流行しているが、この辺りは車が通るところが無く天ヶ瀬ダム再開発事業OCRになっているところも含めどのように活用できるか調査費を、本日宇治市議会に補正予算で提案したところ。可決まで1か月ほどかかる。かわまち作りの政府による整備は予算計上している。

（神居委員）国交省はかなりの額が出るのか。

（事務局）手元で額までわからない。今年度は設計のみ、それを基に来年度の工事で大きな額になると思う。

（神居委員）追加された⑦に関して内容を問う研究検討会は部署としては？

（事務局）資料4の調査が今年度いっぱい。イメージは昔ながらの行政が施設を整備して5時に終わるお店を作るのではなく、民間で運営をしてもらえるか。宇治市に所有権を残すコンセッション方式や、公園という位置付けのパークPFI方式もあり有料で運営が出来るか調査し、その結果翌年以降研究検討し事業化となればこの委員会で表記の変更をお願いしていく手順になる。

（神居委員）ぜひ新しい形を。近代化遺産と自然遺産があり駐車場が無いが路線バスや観光バスは通っているか？

（事務局）宇治川ラインは大丈夫。下に降りて白虹橋を通り志津川に行くルートも大丈夫。DMOさんが臨時にバスを走らせたこともある。

(池本委員) 源氏タウン商店街では観光動線に非常に苦勞している。ここが出来、仮に平等院前の駐車場からバス等のルートでは商店街は厳しくなる。右岸の通りをハイキングがてら通るルートがあることも検討していただきたい。

(神居委員) 東側にバーベキュー場所もありますね。多角的な面から見たらいいと思う。

(森委員) 委員会で承認し加えるのは構わないが検討や調査は誰が行うのか。前回観光振興計画の策定に関わって進捗管理をする委員会の委員長をしたが、これが認定というのは新聞報道で知った。誰が決めて、どんな意見かわかりにくい。結果的に街全体でどんなインパクトがあるのか、動線設定として広域的に見るのか、この施設のターゲットは誰なのか等、検討する場を持たれた方がいいのではないかと。説明を伺ってもよくわからない。

(事務局) 先導的官民連携支援事業は、行政で申請しその中で意思決定をしている。調査は便益の計算もありコンサルタントに発注を考えている。予算が議会の議決の後ワーキングを作りこの委員会に入ってくださいかプランニングをしていく。予算計上の発注担当課の考えは、天ヶ瀬ダム新たな観光資源については歴史公園が2年で出来上がる宇治川右岸を観光客に知ってもらう前提で動いている。ピンポイントでなくルートで知らせていく工夫を調査事業の中で考えていく。歩かない人の遠いイメージは往復の交通網をオンリーワンが可能か調査チームで考えていく。

(神居委員) 宇治川を中心とした琵琶湖国定公園全体で考えると太閤堤の問題、ふたご山、平等院等広域的な側面からワーキングを進めていく。

**【坂上委員長】** このアクションプランの追加をする事でよろしいか。異論はなかったということで。ただし、プランを検討するプロセスで観光の関係者の意見を組み入れる方向と言うのが留意事項になる。次第の4その他、観光振興計画等、発言をお願いしたい。重点事項であるJR宇治駅前あり方について、委員の意見を伺いたい。

→ (事務局) JR宇治駅が観光の出入り口であり、動向の把握のため担当の観光課と観光協会の事務所の位置については議会から意見を聞いている。JR宇治駅前の景観改善アクションプランが行政で考えを持ち得ていない。駅前の公衆トイレやからくり時計等々その辺りの施設に関して、宇治らしさがない・ワクワク感が無い等以前お聞きしたが何か他に意見を聞かせていただきたい。

(森委員) ローターも含め駅前トイレや既存の施設を有効利用し観光の窓口としての一体の整備が必要と理解している。観光はタイミングが大切で、トータルでやるのか、スピーディに進めるのか。修学旅行生が交番で道を聞いていたが観光案内所を知らないと思う。入りやすい施設を作るには案内だけでなく採算性も含め相当デザインを考える必要があると思う。

(神居委員) 京都市のシステムで京都駅を降りて荷物を預けたら宿泊するホテルに運んでくれる等のサービスがある。荷物の処理をどうするか、宿泊も含めて考えるのか、コインロッカーだけの話でない。駅前の一体的な整備が必要。駅前広場を再整備し、例えば宇治茶の足湯を造ればかなり衝撃的だと思う。他の都市にないものを見つけていく。

(坂上委員長) 駅の案内所は全国で理想的な事例がある。どんな機能があるか等調べれば、現状との差が明らかになる。今日の委員会の全体を通して、日本が観光立国法を作った前年の国家予算が30億円。翌年90億円になった。国家として観光が重要な産業と認識をすれば予算を増やしてきた。宇治の将来を考えた時、今までと同じ予算であればかなり危ないと思う。本日の多くの

意見は今までの横並びの観光課の予算であれば、宇治の観光は前に進んで行かないだろうということ。抜本的に観光組織について迅速に動ける体制づくりを予算取りと合わせて仕組まないと、せっかくの資源が将来失われる可能性があるというのが委員の思い。観光はリップサービスでやると言っても予算を見れば全く増えていない行政体質が非常に根強い。逆にこれを打ち破ったところが観光で成功すると思う。宇治は観光協会が素晴らしい活動をしている。一体になって予算を執行することがないと前へ進まない。サイン整備も前に進まず、桜を5本植えたとか…思っているイメージと実際とのかい離があまりにも大き過ぎる。スムーズに動ける何かをと言うのが私の気づいた点。本日は委員の方から活発な意見をいただき円滑な進行にご協力ありがとうございました。